

浅井町ふれあいたより



110号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」

発行日 令和4年2月1日

発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

【温かくてほっこりする笑顔を広げる】一宮市立浅井中小学校 校長 高木 千豊

10月のときには、子どもたちの優しい心遣いを受けながら、ウサギがすくすく育っていることを書きました。その後も、子どもたちの優しい心が入っている本校のウサギは、自慢すべきウサギであり、ウサギ小屋の周りでは、子どもたちの温かい笑顔がみられています。

2学期には、温かい笑顔が広がる取り組みとして、「教育漫才」を行いました。今、コロナ禍で、我慢・自粛により人との関わりがしにくいなか、共感し感動を与える場面が減少しています。学校に温かい笑顔が少なくなっています。そこで、「温かくてほっこりする笑いを学校に」という願いから「教育漫才」の導入を全職員で検討し、研修をしてきました。「漫才」のネタのなかには、だれかを落とし入れ不幸にすることで、周囲があざけ笑う笑いがあります。しかし、「教育漫才」は「漫才」に「教育」がついています。その理由は、周囲があざけ笑う笑いではなく、だれもが心の底から温かくてほっこりする笑いをつくることを目的としているからです。

そこで、人を非難することばや、たたく・蹴るといった動作はしないという約束をしてから、ネタづくりに入ります。ネタづくりでは、情報収集能力・情報活用能力・語彙力・構成力が養われていきます。また、できあがったネタを発表するときには、プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力が磨かれていきます。そして、できあがった教育漫才を発表することにより、しっかりと聴いて、笑ってくれた喜びが実感となり、自分も他のペアやトリオの発表を心して聴こうとする傾聴や共感が養われていきます。今後、ネタづくりにおいて、時事問題を取り上げるなどの工夫をすれば、社会事象への関心が高まる実践となるなど、いろいろな効果が期待できるものとなります。まさに新しい学習指導要領がめざしている、「主体的・対話的で深い学び」を実現できる取り組みになると考えています。

まだまだ、駆け出したばかりの実践ですので、画期的な効果が得られるまでに至っていません。しかし、積み重ねていくことで、子どもたちを変え、学校を変えていけると信じています。今後とも、学校・家庭・地域が協力し合い、子どもたちのよりよい成長をめざしていけたらと思っています。ご協力をお願いします。



2月の行事予定

10日(木) 交通安全街頭監視日

16日(水) 資源回収日

17日(木) 浅井4校連絡協議会及び健全育成会

24日(木) 防犯パトロール役員会

防災リーダー養成講座

12月11日(土)午前10時より「防災リーダー養成講座」の二日目が行われました。浅井中小学校で浅井西成消防出張所職員から、市内の各学校にある防災備蓄倉庫に入っている防災グッズの説明を受けました。

その後、浅井公民館に戻り、災害時の救命講習となり、三角巾の扱い方、毛布を使った応急担架の組み立てなどを学びました。日常生活の中でも活用できる内容にどの参加者も興味深々でした。

昼食の後、大野会長による「浅井町の災害について」の講義で、地元浅井町がどんな災害を受けるのか、また受けた場合の被害の予想などについて学習。そして、最後はグループ討議「町内防災体制の課題と対応」について4つのグループに分かれて話し合いました。それぞれの町内の現状説明から、災害時の課題について熱心に話し合い、それをB紙にまとめた発表は、二日間にわたる研修の成果が十分に表れて、とても素晴らしい内容ばかりでした。

最後に修了証を頂き、岩田連区長の講評で締めくくりました。この研修で終わることなく町内に持ち帰り、それぞれの地域でリーダーとしての役割を果たしていただくことを期待します。お疲れ様でした。



グループ発表



修了証授与

防犯パトロール意見交換会



12月11日(土)午後4時から地域づくり協議会役員とボランティア15名が参加して、防犯パトロールについての意見交換会が浅井公民館2階大会議室にて行われました。「たまには夜も巡回したら」、「町内、連区の境目が分からない」、「防犯パト隊の名称が入ったジャンパーがあったら良いのでは」、「いつも同じ顔ぶれだから、違う方ともやってみたい」など前向きな意見が、多く出て、今後の参考となる意見ばかりでした。

これからも、児童の見守りのみならず、私たちの町、浅井町の安全、安心を守るために、ご協力を宜しくお願いします。

児童館「お正月工作」

1月8日(土)浅井児童館で「お正月工作」が行われました。午前10時と11時の2回、それぞれ10名程の子ども達が集まりました。あいさつと説明のあと、さっそく「ダルマさん」と「羽子板」作りに取り掛かりました。



まず、折り紙で「ダルマさん」を作り、次に段ボール紙の型に色紙か布を張って「羽子板」を作り、これに「ダルマさん」を付けていきました。さらに、用意されていたアクセサリやマスキングテープなどで飾り付けて完成です。子ども達は折り紙を何回も細かく折ったり、羽子板に色紙や布をピンと張るなどむづかしい所は先生に教えてもらい、苦労しながら作っていました。

コロナ感染防止対策のため十分な時間が取れない中でも、個性あふれ想像力豊かな「羽子板」が出来ました。

時間が足りなかった子は家に持ち帰って続きが出来るようにもなっていました。帰りにはお年玉袋が用意され、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

